

## 日墨戦略的グローバルパートナーシップ研修計画

研修レポート 2017年2月

井山明日香

もうメキシコシティでは寒さが和らいできて、すっかり春の陽気になってきました。日中は半袖で過ごせるほど暖かく気持ちがいい日々です。その春の訪れと同時に、ここではハカランダという花が街中に咲きます。青紫色の小さいの花をつける木で、メキシコの桜と言っても過言ではないほど綺麗です。そして、実はこのハカランダは昔、松本辰吾朗氏という日本人がメキシコに持ち込んだそうです。今回は彼について少し紹介したいと思います。



(家の近くに咲いているハカランダ)

彼は1896年(明治22年)にメキシコへ移住し、庭師として活躍しました。例えば、メキシコシティの北西辺りにあるチャプルテペック城(かつてフランスがメキシコを植民地としていた時代に建てられた城)の庭の管理を30年間担当していたそうです。その後、メキシコ革命初期段階の不安定な情勢の中彼の息子の助けを得て造園事業は軌道に乗り、ますます有名は庭師となりました。その結果、歴代の大統領や上流階級にも名が知れわたり、その当時の大統領にハカランダをメキシコシティの主要道路沿いに植えることを提案したそうです。その後1955年に亡くなるまでメキシコシティで活躍を続け、彼の一族は日系移民の中でも偉大な成果を残すことができました。

また、このハカランダはカエンボクとハウオウボクに並んで「世界三大花木」と言われているそうです。日本の桜とは違って2月から4月ごろまで長く楽しめるお花なので、この時期にメキシコを訪れた際には是非ハカランダを見てください。

そして、2月といえばバレンタインデーですが、ここメキシコでは日本と違って男性が女性にお花などをプレゼントすることが主流だそうです。わたしが通っている語学学校では「愛と友好の日」と題して、出し物大会のようなイベントが行われました。そこで、メキシコ伝統舞踊のクラスの人でダンスを披露してきました。他にも歌などの出し物がありとても楽しいイベントになりました。

3月からはスペイン語の4つ目のコースが始まります。これまで何とか無事に進級し続けることができましたが、今回のコースからは基礎のクラスを終え中級のクラスに入るので少し心配です。メキシコ人の友人やクラスメイトに助けてもらいながら新しいコースを頑張りたいと思います。